

平成28年度東京都KWB野球連盟新人戦大会予選リーグ 大会要項

1 日程

【予選リーグ】 10月29日（土）～12月25日（日）

【決勝トーナメント】 1月21日（土）18：30～ 決勝トーナメント抽選会
1月22日（日）～3月20日（祝）

2 大会運営

大会は予選リーグと決勝トーナメントの2ラウンド制とする。

・予選リーグ

(1) ブロックについて

- ① 4チーム又は5チームの総当り戦で予選リーグを実施する。
- ② 各ブロックは12月25日（日）までに代表チームを選出しなければならない。
- ③ ブロック長は公正・円滑にリーグ戦を実施する責務を有す。
(対戦カード、日程、グラウンド、審判などの調整を行う)
- ④ 参加チームはブロック長に協力し誠実にリーグ戦に参加する義務を有す。
(成績に拘わらず全対戦を誠実に行う)

(2) 決勝トーナメント進出チームの選出について

- ① 各ブロックの成績上位2チームが決勝トーナメント進出する権利を獲得する。
(5チームのブロックは上位3チームが進出)
- ② 成績上位チームから決勝トーナメント辞退が出た場合には次位が出場する。
(辞退チームの指名、推薦は認めない)
- ③ ブロック順位は勝ち点制を採用し決定する。
 - 1 通常の勝利 : 勝ち点3
 - 2 特別延長での勝利 : 勝ち点2
 - 3 特別延長での敗戦 : 勝ち点1
 - 4 通常の敗戦 : 勝ち点0
- ④ ブロック順位は下記の優先順で決定する。
 - 1 勝ち点の多いチーム
 - 2 総失点の少ないチーム (特別延長の失点は含まず)
 - 3 総得点の多いチーム (特別延長の得点は含まず)
 - 4 総失点の少ないチーム (特別延長の失点は含む)
 - 5 総得点の多いチーム (特別延長の得点は含む)
 - 6 上記5まですべて同点の場合は当該チーム同士のリーグ戦の勝敗
- ⑤ 万一、12月25日（日）までにすべてのリーグ戦を終了していないブロックは決勝トーナメントへの進出を放棄したものとみなす。
但し、対戦全カードを終了した成績上位のチームに関しては別途常任理事会で判定し決勝ト

ーナメント進出チームを選出する。

(3) 試合について

- ① 試合は90分、7回戦とする。(90分を超えて新しいイニングに入らない事とする)
- ② 同点の場合は特別ルールにより決着をつける。(タイブレーク方式)
- ③ 勝敗が決するまで、特別方式を継続して行う。特別ルールは1死満塁、継続打順で行う。
- ④ 気象条件、日没等でサスペンデットとなる場合、5回戦で試合成立するものとし5回戦未満の場合は継続試合とする。
- ⑤ 投手の1日の投球イニング数は最大7イニングスとする。(但し、特別延長回は含まない)イニングの途中での交代の場合、1/3、2/3とカウントして、合計7イニングス以内とする。
- ⑥ 審判は当該チーム同士の出し合いとする。(審判服、それに準ずる服装着用)審判を出せないチームはブロック長に連絡し手配を依頼すること。(有料)
- ⑦ ボールは当該チームの出し合いとする。
- ⑧ グランド代が有料の場合は当該チーム同士で折半とする。
- ⑨ 試合当日のベンチ入り選手は10名以上20名以下とする。
- ⑩ 試合時にベンチ入り選手が10名未満の場合は、不戦敗とする。
- ⑪ 試合時に登録済の監督、コーチが1人も不在の場合は、不戦敗とする。
- ⑫ ベンチ入りできるスタッフは監督(30番)、コーチ(2名、29・28番)、引率責任者、マネージャー、スコアラーの計6名とする。
- ⑬ コーチャーについてはコーチ(29・28番)が出ることができる。
- ⑭ 監督、コーチは必ず背番号の付いたユニフォーム着用、他のスタッフはユニフォーム以外のベンチ入りに相応しい格好(帽子・チームジャンパー)をする。
- ⑮ 相手チームに対する野次は厳禁とする。(応援団の野次も同様)鳴り物についても禁止する。その他、東京都軟式野球連盟試合要項、日本KWB少年野球連盟試合要項に準ずる。

(4) 登録、その他

- ① 1チームは10名以上の登録が必要(上限なし)
- ② 選手の背番号の重複は認めない。
- ③ 選手の追加・登録変更は最初の試合時に予め理事長に書面にて申し出ること。
- ④ 試合当日の日程変更要請は認めない。当日のキャンセルは不戦負とする。但し、試合時間変更は相手チーム及びブロック長が了承すれば認める。
- ⑤ ブロック長、大会本部の度重なる要請にも拘らず、試合実施に協力いただけないチームは棄権とすることがある。